

軽度のアルツハイマー病に対する新薬レカネマブ(レケンビ®)の治療について

当院では、アルツハイマー病による軽度認知障害(MCI)および軽度の認知症に対してレカネマブ(レケンビ®)の投与が可能です。このお薬の使用は厚生労働省によって定められた「最適使用推進ガイドライン」に沿って行われます。

お薬はすぐに投与はできず、使用が可能かどうか、約1カ月程度、複数回の外来受診によって評価を行う必要があります。

レカネマブ(レケンビ®)の投与を希望される場合

かかりつけ医、近医脳神経外科の受診

- ① まずはかかりつけ医もしくは近医脳神経外科を受診して頂き、レカネマブ(レケンビ®)の投与について相談をさせていただきます。
※患者様の認知症の進行度合いによっては、かかりつけ医や脳神経外科受診の段階で投与が難しいことを説明されることがあります。
- ② お薬の使用希望がある場合には、**当院脳神経内科、新患外来**へ紹介をしてもらってください。

ここから当院での対応となります。

- ③ **1回目**の受診で、**お薬の簡単な説明、患者様の病歴の確認や検査予約**を行います。
- ④ **2回目**の受診で、**認知機能検査**を行います。
- ⑤ **3回目**の受診で、**頭部MRI検査**および次の検査に進めるかどうかの説明を行います。
脳アミロイドの蓄積があるかどうか**髄液検査**、もしくは**福岡和白病院でPET検査(予約が必要です)**をして頂きます。これらの検査の結果が出るまでにおおむね2週間前後必要です。※検査の結果によってはお薬の投与を受けられません。
- ⑥ **4回目**の受診：脳アミロイドの蓄積が確認できれば**お薬の投与の予約**を行います。
- ⑦ **初回投与(入院)**：当院では初回投与のみ入院で実施しています。平日1泊2日もしくは週末3泊4日で入院し投与後の副作用がないか観察を行います。
- ⑧ **その後の投与(外来)**：2週間に一度外来でレカネマブ(レケンビ®)の点滴投与を行います。
※当院で約半年間、安定して投与が可能であれば、近医投与可能施設へ紹介致します。

フローチャート

① かかりつけ、近医脳神経外科へ相談



② 当院脳神経内科新患外来へ紹介、予約

③ 1回目受診：病歴確認、簡単な説明

④ 2回目受診：認知機能検査

⑤ 3回目受診：頭部 MRI → 髄液検査 もしくは PET 検査



髄液検査 もしくは PET 検査の結果確認に2週間程度かかります

⑥ 4回目受診：レカネマブ(レケンビ®)投与の予約、入院説明

⑦ 初回投与：入院、レカネマブ(レケンビ®)投与を行います。

⑧ その後：2週間に1度外来で点滴投与